

自ら社会参画を実現する力の育成

～施設利用の学習から主体的に社会へ関わろうとする授業の展開～

校種・学年	小学校・特別支援学級	教科等	生活単元学習 「学校を探検しよう」
時間・学期(月)	6時間・後期(10月)	副読本	P8
準備等	写真資料等・学校探検用シート		

1 わらい

将来本学級の児童は様々な施設を利用することが考えられ、施設内地図の見方、活用の仕方を知ることが必要になってくると考える。そのため、校内地図を使っての校内探検を通して、施設地図を活用する力を身に付ける。また、学校内のスイッチ、水道などを探検することで、多くのエネルギーに囲まれていることに気付くことができる。

2 伸ばしたい資質・能力

- 様々な情報から必要な事柄を選ぶ力
- 調べた内容を簡潔にまとめる力
- 自分が伝えたいことを相手に伝える力

3 指導計画(全6時間)

時間	主な学習活動・内容等
1	○地球温暖化やエネルギーによる事象に触れ、環境問題を身近な問題として考える。 探検用ワークシートの使い方を知り、施設内地図の見方を学習する。
1	○学校内にあるエネルギーを使用するものを知り、校内探検の練習をおこなう。
2	○学校内を探検し、探検シートにエネルギーをする物・施設に印を付ける。
1	○校内におけるエネルギーを使う物・施設の多さに気づき、エネルギーを節約する方法を個人で考える。
1	○エネルギーを節約する方法を発表しあう。

4 本時の学習指導(本時 2/6)

時間	学習活動	留意点 ★冊子の活用等
10	○写真の資料から、環境問題とエネルギー問題の関係を振り返る。	○動物の生息域減少の写真 ★ P2「白熊の絵」から、環境問題を身近に考えるきっかけを作る。 ★ P10「家にある家電の絵」から、スイッチや水道がエネルギーを使うものと知るきっかけを作る。
5	○学習の課題を知る。 成田小学校ではエネルギーはどこで使っているのだろうか？	
5	○校内探検の方法・約束を伝える。	
10	○班別で、南側校舎1階にあるスイッチや水道を探し、その場で探検用シートへ場所を記していく。	○自作の学校探検シートを活用する。 ○個別に活動方法や内容を変える。 ○探検用シートはシールを貼って記入していく。

10	○教室に戻り、全員で見つけてきたものを1枚の地図にまとめる。	
5	○次時に向け、学校探検の方法・約束の再確認	

5 他教科等とのつながり	6 社会とのつながり
○自立活動「コミュニケーション」 「環境把握」 ○日常生活の指導	○施設利用 ○良好な対人関係の築き方

7 おすすめのポイント（さらに、効果アップ！）
○家庭で、本単元で学習したことを話すことで、学習がより深まる。 ○学習したことを基に自分たちにできることを選択・判断させるために、学習前の自分の考えを記録し、活用することで、学習を通して自分の考えがどうなったのかが実感できる。 ○自分の考えの変容が、具体的な行動にどう表れるかについて、「エコライフデー」を活用するとよい。

8 授業後の児童の感想、参観された方の感想など
○スイッチを探すことを通して、学校のことが詳しくなれた。 ○スイッチを探すのが難しかった。 ○児童が一生懸命スイッチを探して、ワークシートにまとめていました。 ○上級生が下級生をよく面倒を見ていた。

9 研究協議の内容
○1時間の流れを示したことが良かった。 ○図や写真で、活動方法を提示したことは良かった。 ○スイッチだけでなく、水道など見つけるものを広げられると子供たちもより積極的に活動ができたように思う。 ○地図へまとめる時に、シールなどを活用するとスムーズにまとめる活動が進められたと思う。 ○グループ編成時に、人間関係を考慮して編成すると良かったと思う。 ○教員の説明が長く、子供の活動を増やす工夫が必要。